



ガーデニング

バラの挿し木

バラは春の花が終わってから夏までの管理が大切です。花から摘みもポイントの一つ。新しい芽がスムーズに出るように行います。摘み取った枝も捨てないで。挿し木で簡単に増やせますよ。

※「品種登録」されている品種は、増殖、販売が禁じられています。



5～6月、西宮市北山緑化植物園ではバラが見頃に

穂木の準備

- 5枚葉を3枚つけて切る
- 切り口は斜めに
- 1番下の葉は付け根から取る
- 残った葉をハサミで半分に切る
 - 土に挿す部分のトゲを取る

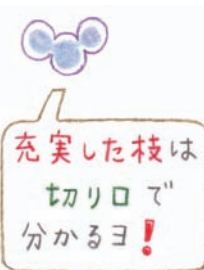


挿し木

葉を取った節の部分が埋まるように挿す。この節の部分から根が出る



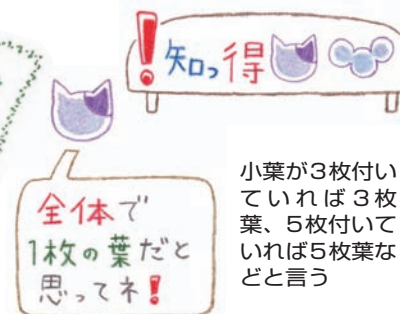
挿し木には枝先や古い枝は避け、木質部がしっかり発達した枝を選ぶ



充実した枝は切り口で分かるヨ!



表皮
木質部
髓(ずい)



全体で1枚の葉だと思っネ!

小葉が3枚付いていれば3枚葉、5枚付いていれば5枚葉などと言う

【花後の管理】

- 花が咲いたら、出来るだけ早く花がらを摘む。花が咲いた枝の中程の、元気の良い5枚葉の上で切る。
- 満開を少し過ぎた頃、発酵済み有機質肥料(バラ専用など)か化成肥料を追肥する。鉢植えは液体肥料でも可。
- 病害虫防除のコツは、発生初期を見逃さずに対処すること。日当たり、風通し、水はけを良くし、強い株に育てる。
- 病气予防の薬剤を散布する時は雨の前が効果的。

【挿し木の準備・穂木】

- 挿し木する枝を穂木という。取る花の咲いた枝の中程(しっかりした枝を選ぶ)で、5枚葉を3枚つけて切る。
- 水分の蒸散を防ぐために葉を半分切るなど、穂木を調整する。1～2時間水に挿して水揚げする。
- 【挿し木・鉢上げ】肥料の入っていない清潔な用土(赤玉土に鹿沼土を混ぜたものなど)に、一番下の節が埋まるように挿して、たっぷり水を与える。
- 直射日光の射さない半日陰に置き、土が乾いたら水をやる。水のやり過ぎ、腰水、乾かし過ぎはNG。

- 3週間程で根が出始めるが、確実に出るまで動かさない。出たか否か気になっても、決して穂木を抜かない。
- 2か月程で肥料の入っていない土を入れた3号(直径9センチ)ポットに鉢上げする。その後は1～2週間に1度、液体肥料を与える。生長に応じて大きな鉢に植え替える。